

令和4年度 第1回 平塚市博物館協議会会議録

■ 開催日時 令和4年5月27日(金) 10時～11時30分

■ 開催場所 平塚市博物館 講堂

■ 会議出席者(敬称略)

会長 植田 育男

副会長 藤吉 敬子

委員 新井 志生実、小倉 俊宏、昆 政明、今野 博

事務局 浜野館長、杉山館長代理(管理担当)、川端館長代理(学芸担当)

■ 傍聴者 1名

■ 会議の概要

1 開 会 平塚市博物館協議会委員任命状交付

吉野雅裕教育長挨拶

協議会委員自己紹介

職員紹介

会長、副会長の選任

植田会長、藤吉副会長挨拶

2 議 事

(1) 報告事項等について

- ・ 令和3年度春期特別展
- ・ 博物館ぶたいうらツアー&プラネタリウムこどもスペシャル
- ・ 情報発信(ホームページとYouTube・SNS)

(2) 今後の事業予定について

3 閉 会

■ 議事および質疑

議題(1) 報告事項等について

◆令和3年度春期特別展の開催報告について事務局川端学芸担当長が説明資料により説明。

委 員 アンケートの感想にも書いてあるが、展示に使われていた手書き風のフォントが、本物の手書きのようで、親しみやすく、今までの博物館展示とは一線を画するような展示で、新しい世代の学芸員の個性が感じられた。学術的な表現も大事だが、観覧者に伝えるという部分で優れた工夫と感じた。平塚には多くの遺跡があり、また「中空土偶」など素晴らしい出土品があることに驚いた。市民にも伝わったのではないかと思う。

委 員 この展示を楽しみにしていて、2回見に来た。導入部分の作りがいつもと違うなど感じた。わかりやすい表現で、小学生たちにも理解できたのではないか。展示方法や表現の工夫といった、引き付けるアイデアをまた楽しみにしている。

委 員 アンケートにもあったが、このフォントは「数字」や「アルファベット」が読みやすかったと

感じた。

委員長 デザインのテーマとは外れてしまうかもしれないが、指摘があったところは、何かアイデアを工夫してほしいと思う。

委員 考古の特別展は、モノを中心とする展示となりがちで、説明や解説が長くなったり難解になりがちだが、アンケートでのこれほど肯定的な反応はなかなかない。良い特別展であったことがよくわかる。開館当時から平塚市博物館は市民目線のわかりやすい展示というのが評判だったが、世代が変わっても、そういった伝統が継承され、さらに新しい感覚が取り入れられている。これからも非常に楽しみだなと感じた。

委員長 展示の導入部分にあった「考古学とは」が非常によくできていた。

館長 今回の特別展は、“わかりやすく伝える“というところに工夫がされていた。神奈川県立歴史博物館で現在開催されている考古学の特別展でも、展示の一部に「手書き文字」が活用されていたり、発掘現場と室内作業の違いはあったが、考古学の作業の再現を展示に取り入れるなど、発想や手法に共通する点があった。若い学芸員のセンスが発揮されたのではないかと感じた。

◆「博物館ぶたいうらツアー&プラネタリウムこどもスペシャル」開催報告について事務局川端学芸担当長が説明資料により説明。

委員長 バックヤードツアーは、観覧向けの設計になっていないと思うが、この企画に向けて、何か特別なことをしたのか。

事務局 収蔵庫などは、限界まで資料が収納されているところもあり、そういった収蔵庫では、奥まで入らず入り口から交代で見ってもらうなどの方法をとった。また、見学グループ同士を交錯させないように、見学ルートや時間を設定した。

委員長 バックヤードツアーは今回初めての試みか。

館長 コロナ禍以前には、「こどもフェスタ」という子ども向けのプログラムを十数種類用意して、自由に参加してもらう企画を大型連休中に実施していて、その中のプログラムの一つとして、バックヤードを案内するツアーを組み込んでいた。今回のように絞り込んだ形で実施したのは、初めてであった。

委員 参加した子供の年齢で、ネーミングが「こども」であったが、中学生や高校生向けの企画は検討されているか。

事務局 中・高校生向けに特化したという企画は、現状ない。

委員 私の携わる施設では、イベントの運営ボランティアに中高生を募集している。意外と多くの応募があり、興味や楽しさを感じていたようだった。博物館では資料の取り扱いなど別の難しさはあるかと思うが、見学や参加だけではない別の入り口を検討してはいかかか。

委員 子供たちにとっては、博物館に来ることは敷居が高く感じることもある。学芸員に学校に出向いてもらって授業をしてもらうことが可能か。

事務局 可能な限り対応している。昨年度も「火起こし体験」や学区内の「野外観察」などに伺った。市内全校というわけにはいかないが、まずは相談してほしい。内容によっては、ワーキンググ

ループの会員に手伝ってもらえるなどの対応も可能な場合がある。

委員 校長会などの場で出前授業に対応できることを皆さんにお知らせしてもよいか。

館長 ワーキンググループの中には、会員だけで学校に行ってお話などをすることもできる。まずはご相談いただくとよい。

◆ホームページ・YouTube・SNSについて事務局川端学芸担当長が説明資料により説明。

委員 「5分でわかる平塚学入門」は5分という時間がちょうどいい。8月に終了予定ということで残念だが後続企画はどうか。

事務局 「5分でわかる平塚学入門」とともに「鎌倉殿と平塚の七人」も8月に終了予定となっており、後続の企画を現在検討している。開始時期は未定だが、その間は4月から公開開始した「だいたい3分でわかる88星座」を2週間に1本公開していくので、新しい動画が何もなくなるというわけではない。

委員 語りの中に「難しい言葉」や「聞き取りにくい言葉」があり、テロップなどを挿入できないか。子どもたちが見るときにも役に立つのでは。

事務局 動画制作時から「字幕」や「テロップ」の必要性は検討していたが、毎週公開というスケジュールに対応できなかった。「5分」のシリーズが終了するので、文字挿入できるものから対応していきたい。

委員 平塚の歴史や自然、文化を、多種多様なテーマで取り上げている博物館の動画は、知人から質問を受けた時や、何か調べたり、探したりする時に、5分程度で見られることもあり、とても重宝する。

委員 協議会で、この動画シリーズを作り始めると、80タイトルという数を聞いたときはすごいことだなと感じた。残りタイトルが10数話となったということで、学芸員の方々が頑張ってくれたおかげと思っている。テーマや内容も様々な視点から見ることのできる総合博物館の強みが活かされている。

館長 毎週金曜日更新は、かなり忙しかったが何とかスケジュールを守って続けてこられた。今後なんとか動画プログラムを継続したいと考えている。一方で、博物館には膨大な資料があり、ホームページでのデジタルアーカイブ公開にも注力していきたいと考えている。

委員 デジタルアーカイブの話で、ホームページには「むかしのひらつか」という昭和30・40年代の古写真がある。引き続きもっと充実させてもらいたいと思う。

館長 過去に市民から提供してもらった写真では、「インターネットで公開」することに関しての許諾を得ていないため、すぐにはできない部分がある。今後はそういった承諾を事前確認するよう取り扱いを改めたい。

議題（2）令和4年度事業予定について

◆令和4年度事業計画について事務局川端学芸担当長が説明資料により説明

委員 夏期特別展の「星になった民具たち」はどういった内容になるのか。

館長 現在の星座は西洋由来の星座が一般的だが、古来、日本でも星の並びを様々なものに例えていたが、その多くは生活に密着した「道具」、民具にあったことは、あまり知られていないことから、天文担当学芸員が主となり、民俗担当学芸員と合同で展示を担当する。日本人の「星座観」などを紹介したいと考えている。

委員 非常に面白そうな内容と思う。天文と民俗は関係が深いということが最近言われている。楽しみにしている。

委員長 年末の休館は設備改修ということだが、どのような内容か。

事務局 火災報知受信機の更新を行う。

議題（3）その他について

次回の協議会は、令和4年11月18日（金）10：00から開催することとした。

配 布 資 料

令和4年度 第1回平塚市博物館協議会 次第

令和4年5月27日（金）午前10時
平塚市博物館科学教室

1 開会

会長、副会長の選任

2 議事

(1) 報告事項等について

- ・ 令和3年度春期特別展について
- ・ 博物館ぶたいうらツアー&プラネタリウムこどもスペシャルについて
- ・ 情報発信（ホームページとYouTube・SNS）について

(2) 今後の事業計画等について

(3) その他

- ・ 事務連絡等

3 閉会

以上

2021 年度春期特別展「掘り起こされた平塚Ⅳ-姿をあらわす遺跡たち-」

開催報告

会 期 2022(令和4)年3月19日(土)～5月8日(日)
休館日:月曜日(3月21日(月))は開館。3月22日(火)は休館)

主 旨 市内発掘調査の成果を紹介する「掘り起こされた平塚」という特別展が過去3回開催されてきた。今回は2004年の開催で20年近くが経ち、市内では発掘調査の成果が蓄積されている。考古学に興味のある来館者からの「最近の発掘調査成果について知りたい」という声がある一定数あり、調査終了後はその成果を発掘調査報告書として刊行しているが、一般の人がそれを読み、内容を理解するのは難しい。そこで、2004年以降の調査成果から時代ごとに主題となりうるものを抽出し、その時代の概観を改めて解説することで、歴史に触れる機会づくりと考古資料・埋蔵文化財に対する理解を深めてもらうことを目的に開催した。

展 示 構 成 序章:考古学の世界/1:旧石器・縄文時代/2:弥生・古墳・飛鳥時代/3:奈良・平安時代/4:鎌倉・室町・戦国時代/5:湘南新道関連遺跡

入 館 者

	入館者数			開館 日数	こどもの 割合	平均入 館 者数/1 日
	大人	こども	合計			
3月	1,290	577	1,867	11	30.9%	170
4月	2,893	859	3,752	26	22.9%	144
5月	1,267	345	1,612	7	21.4%	230
期間計	5,450	1,781	7,231	44	24.6%	164

(参 考)

R3 秋	6,906	2,877	9,783	64	29.4%	153
R3 夏	5,724	2,396	8,120	45	29.5%	180
R2 春	6,075	1,887	7,962	62	23.7%	128

関 連 行 事 特別展関連行事「ぶらり遺跡ウォーキング」
・四之宮編(3月30日(水)開催):16名 (参加16名)
・岡崎編(4月24日(土)当日天候不順により中止):0名
特別展展示解説会
① 4月2日(土) 10時30分～11時30分 (参加8名)
② 4月30日(土) 10時30分～11時30分 (参加16名)

印 刷 物 図録「掘り起こされた平塚Ⅳ -姿をあらわす遺跡たち-」
A4判 80頁 カラー 1000部 頒布価格 ¥500
開催期間内頒布部数:202部
(参考) R2 春:187部、R3 夏:278部、R3 秋:571部
ポスター B3判 カラー 300部

アンケートの結果

回収枚数 131枚

回答者の住所 平塚市内68名、平塚市外神奈川県内54名、神奈川県外関東地方5名
(n=127)

回答者性別 男66名、女61名、
(n=127)

回答者年齢	～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
(n=129)	10名	6名	4名	20名	29名	34名	26名

情報の入手先 広報ひらつか 37名、博物館のホームページ 21名、あなたと博物館 2名、
(複数回答可) SNS 6名、新聞等 13名、ポスター 20名、口コミ 7名、その他 35名
(n=141)

おもしろさ 興味ぶかさ (n=125)	とても おもしろい	やや おもしろい	ふつう	やや つまらない	つまらない
	78名	36名	10名	1名	0名
	62.4%	28.8%	8.0%	0.8%	0.0%

難しさ (n=126)	とても よくわかる	まあ わかる	ふつう	やや むずかしい	とても むずかしい
	58名	44名	15名	8名	1名
	46.0%	34.9%	11.9%	6.3%	0.8%

総合評価 (n=128)	とても良い	まあ良い	ふつう	もう少し	良くない
	78名	40名	7名	2名	1名
	60.9%	31.3%	5.5%	1.6%	0.8%

ご意見・ご感想(抜粋)

- ・展示の説明書きが、初心者の私にもとてもわかりやすく、思わずわらってしまうような文章がとても良かったです。現在、市内を初め、近隣の古墳をみてまわっておりますが、市内の古墳の特集などもしていただけたらうれしいです。これからもたのしみにしております。
(50代・女)
- ・15年間の成果をまとめて展示されたということで、「大作品」的な労力が伺われました。ここでまとめて頂いたことが多くの方が平塚の古代を考えるステップとなる資料が提示されたことは大きいです。(50代・男)
- ・発掘現場の香りをちょっと加えた素敵な展示でした。(50代・男)
- ・説明文がやさしくて、良かった。但、基礎知識が乏しいので、少々、内容は難しかった。当時の地形(丘陵、砂丘、海域、川)と遺跡の位置関連が分かると、より理解しやすいと思った。平塚を統括した一族の勢力図が、年代毎にあると良いと思う(地図)(50代・男)
- ・平塚にこれ程の遺跡があることのオドロキを感じます。(70代・男)

- ・王子ノ台遺跡出土の中空土偶に会えてしあわせです。ありがとうございました。（60代・男）
- ・解説がとてもユニークでわかりやすい。考古学と現代の暮らしを結び付け、とてもおもしろかったです。（60代・女）
- ・見やすく、わかりやすい展示でした。導入？の豚汁のやりとりから、ぐっと心をつかまれ、右の方は〇〇から、左の方は××から…など、話しながら説明を受けているようでした。もっといろいろな人にたくさん見てほしい！（40代・女）
- ・たまたま通りがかり入ってみましたが、とてもおもしろかったです。（50代・女）
- ・考古（原始～古代）学中心に何十年か関心を持ってきましたが（大学は、古代オリエント史。辞典類編集者）中央の日本の古代史については、「人々の生活、生業について」のイメージが希少でしてくれたと思っています。地方での、地道な発掘と分析が、「私たちの生活史」を豊かにしていますね。（70代・女）
- ・レベルの水平がくるっていました。アンケートの文字みたいなふつうの文字（フォント）にしてほしい。よみにくい数字の「4」など（70代・男）
- ・デザインの文字で説明されていると読みにくいです。1、4、3など。紙の汚れみたいのが気になりました。中空土偶の片腕が落ちていてこわれているのでしょうか。正面に見て左側気になりました。
- ・手書き風フォントの解説が、大きさ、読み易さでハナマルでした。親しみやすい、理解しやすい文章も含めて。展示スタイルが斬新で魅力的でした（考古資料の整理作業の現場の雰囲気など、凝っているのに、省力的？で簡素でハナマル！）（テン箱の台、汚れた方眼紙風の解説版など、新鮮でした。）（70代・女）
- ・学芸員の方の努力がしのばれる展示でした。（60代・男）
- ・いつもすばらしい展示を見せていただき、感謝しています。方眼紙にマジックで手書きしてあり、手作り感満載！難しいテーマを親しみやすく感じさせる工夫、いいですね、展示スペースが限られ、小さくまとめなければならない状況で、とてもわかりやすく、ツボを押さえた説明に脱帽です。少ない予算の中で知恵を集めたことがよくわかります。皆様のがんばりに拍手！これからもがんばってください。応援しています。（60代・女）
- ・自分の住んでいる平塚は古代の都市だったとは思いませんでした。（60代・女）
- ・かたなの鍔の金メッキの説明文中、渡来人が…とあったこと。展示の文でみかけるのは初めてのように思えます。故キム・タルス氏は、日本全国の遺跡の渡来人の痕跡を調べて本にしている（私は文庫の第1巻を読んだのみ）にもかかわらず。（70代・女）
- ・遺跡学に興味があり何度か見学会等に行ったことがあります。勉強不足で一步深く知ることができていません。解説会もあるようですが、都合がつかず、残念です。期間限定でYoutubeなどに動画をUpし頂けたら嬉しいです。展示の説明…分かりやすい、読み易かったです。（50代・女）
- ・鏡が見たくて来ました！（毎日新聞の地方版で紹介されていた）解説が見た人の想像をかきたてるような文章でユーモアもあり大変楽しく拝見出来ました。これ無料でいいんですか！？ありがとうございました。（40代・女）
- ・久しぶりに土器を見ました。こわれて発見されていた物をよくくっつけられるものだな、長い時間がかかるんだろうな、と思いました。（40代・女）
- ・もうすこしふりがなをふってもらいたいです。（10代・女）
- ・とてもよく見せて頂きありがとうございました。少し難しいところもあるように思いましたので、週に一回位は説明者に廻ってもらえると興味わくと思います。（70代・男）
- ・文字が読みやすかった・説明する人がひとり程度居るとよかった（60代・女）
- ・2回見学しました。平塚のふるさとなので大変良かったです。（40代・男）

- ・真土に住んでおり、実際の作業中の様子を見ていましたが、あの穴たちにこんな深い意味があり、学術的に価値があることだと知れました。「まだ終わらないのかな」と軽く考えていましたが、とても時間がかかり、重要な作業だと改めて知ることができました。（30代・女）
- ・鏡が発見されたので見に来ました。とってもおもしろく充実した内容でした。知識の少ない私にもたくさんのワクワクがありました。もう一度来たいと思います。解説文面がとても良いです。（50代・女）
- ・語りかけるような説明でわかりやすいと思いました。又、方眼紙を背景になんとか汚れたところをみせるなど芸がこまかいな一と感じました。このシリーズは今後とも続けてほしいです。写真等についての可否が会場内に掲示されていなかったのですが…（40代・女）
- ・小学生向けのことで大人にもかんたんすぎじゃなくてすごいです。（10代・女）
- ・すごくわかりやすく、興味を持ってました。教科書では学びましたが、「そうか〜」説明を読んで納得しました。10才の子どもも楽しそうに見学していました。今までで初めてくらいです。説明もよく読んでました。（50代・女）
- ・手書きでとても分かりやすく本当に良かった。今までどこで見た展示（このような）の中で一番文章を読み理解出来ました。（70代・女）
- ・展示の説明が、とても分かりやすく丁寧で素晴らしいです。また、過去からの資料も時系列で展示されており、勉強になります。平塚市博物館の展示は他と比べてもとてもレベルが高く、市民としてほこらしいです。ありがとうございます。（50代）
- ・年代別の説明ですが、とてもわかりづらいです。市内の全体の地図にそれぞれの遺跡を落としこんだ一覧表のようなものが欲しいです。そして、その地域ごとの遺跡の説明をしてほしいです。（60代）
- ・やよいどきよりも、じょうもんどきのほうが好きです。じょうもんどきのほうがもようがあってかっこいいです。（10代・男）
- ・考古学の紹介の仕方がキャッチーだった。つかまれた。（40代・男）
- ・方眼紙、テンバコの上に展示するなどしかけがおもしろかった。（50代・男）
- ・私も息子もさくら幼稚園だったので、たくさん遊んだ園庭から出土したのにはとても感慨深かったです。かがみが発見した地点がわからなかった。（40代・女）
- ・解説文が読みやすい字数で、分かりやすくとても良かったです。解説文を冊子にしていたら、自由に持ち帰れる様にして頂けると、帰宅後にも何度も読み返すことが出来て便利なので、ご検討いただければと思います。ありがとうございます。（20代・男）
- ・発掘調査の現場が再現されていてとても面白かったです。考古学を学んでいる身としてはとても興味深い展示でした。（20代・女）
- ・考古学という学問は民族や、歴史や天文や宗教などのかかわりがたのしい。考えることが楽しみになった。解説を聞いてからだともた興味がわく。（50代・女）
- ・平塚の地名地理がわからないので、少々わかりにくかったです。全体図とこら辺この辺り川のそばとか丘の上とか分けた地図があるとよかったです。
- ・考古学とはなにか、から旧石器～戦国までの時代の流れ、平塚市の各遺跡の紹介まで見やすくまとめられているように思いました。鎌倉～戦国についてはこだわりの強い方が書かれているような…(笑)（50代・男）
- ・平塚の発掘調査の情報が一覧できてとても勉強になりました。壁に黄色の水糸が張ったままなのはわざと演出なのか気になりました。（40代・女）
- ・初めて来ました。子供と気軽に土器などに触れてみる機会ができてよかったです。立派な博物館もいいですが手作り感のあるあたたかい感じの展示物で、したしみやすくよかったです。また来ます。（50代・女）

- ・今朝(5/1)の新聞記事に平塚市博物館にて平塚市の考古学調査研究成果を紹介する欄が目にとまり来館いたしました。神奈川県で大変貴重な出土に関係各位の皆様には頭が下がりますと共に、今後とも宜しく御尽力賜りますと共に御礼申し上げます。(70代・女)
- ・最初の部分で「考古学とは？」のような説明があり、素人でもわかりやすかったです。(30代・男)
- ・大学で考古学の授業をとっていて、授業と関連を感じられる展示になっていてとても楽しみました。専門が国文学なので詳しくないのですが、それでもわかりやすい内容でした。(20代・女)
- ・昔を少し知れたと思いました。他所から引っ越ししてきたので興味深く拝見させていただきました。(70代・女)
- ・発掘箇所の写真をシールにして床に張るのはおもしろい(現場を実感できる)・発掘された資料を基に集落など復元されるのがたのしみ(60代・男)
- ・手書きのパネルがほかの博物館の遺跡展にないめずらしさと親しみを感じた。遺跡ごとに展示がまとまっていて見やすかったし、わかりやすかった。(40代・男)
- ・古代からこの土地に人が住んでいたこと、他の遠方地方からの材料が使われていること、人の交流があったこと、それを現在発掘したモノから解明していくこと、とても面白いと思いました。(60代・女)
- ・市外在住ですが、平塚市出身なので当博物館は折に触れて見学させていただいております。コンパクトですが学芸員さんほかの方々の熱意が感じられ、好感をもって見ております。また、神奈川県考古学同好会でも平塚市博物館の資料など拝見します。(70代・男)
- ・学生時代、発掘に参加しておりまして、楽しく観させていただきました。スタッフの方々の努力に感服。(70代・女)
- ・平塚という地にすんだのは40年前くらい前ですが、どこの町にいてもその地の歴史には深く興味が有り、ゆっくり見させていただきました。作成する時、その時代の品と文字がわかりやすくとても勉強になりました。ありがとうございます。(70代・女)
- ・要領よくまとまっており、平塚市発掘を知ることが出来てよい。又内容が正筆でありご苦労があったと思いますが今後ともつづけられると良いです。いつも展示を見ておりまた展示の冊子もありがたいことです。(80代・男)
- ・とてもわかりやすい言葉で解説されていて面白かったです。昔の人々の生活を知ることが楽しいですね。平塚の博物館の展示はかた苦しくなく学べておもしろく、ためになるので大好きです。また来ます。(40代・女)
- ・生まれたところが四之宮、大変興味深く拝見しました。(80代・男)
- ・説明がとてもわかりやすいと思いました(何年生ぐらいをターゲットにしているかは不明でしたが)。難しい漢字や年号にルビがふってあったのも理解するのに役立ちました。説明文に使用していたフォントも読みやすく、あたたかみがあった良かったです。説明文にもユーモアがあっただけほほえましいのも良かったです。(70代・女)
- ・フォントが読みづらいので、親しみやすさは感じられたが読むのに時間がかかった。遺物、石器と鏡が見られて嬉しかった。遺跡状況のわかる写真と、現代の地図を並べて見て、自分の足もとに遺跡があるのだととても身近に思えた。(40代・女)
- ・ペタペタした土をほってでてきたきいろのすなんだったのかな～(10代・女)
- ・最終日の来館。とてもおもしろかったです。王子ノ台遺跡の「中空土偶」を初めて見ました。国宝の中空土偶に負けず、おもしろかったです。勉強になりました。(60代・男)
- ・総合的にみて歴史年表があるともっとわかりやすいかと思いました。(50代・女)

市制 90 周年記念「博物館ぶたいうらツアー&プラネタリウムこどもスペシャル」開催報告

- 1) 日 時 令和 4 年 4 月 29 日 (金・祝) 午前 9 時 30 分～午前 10 時 40 分
午前 11 時～午後 0 時 10 分
午後 1 時～午後 2 時 10 分
午後 2 時 30 分～午後 3 時 40 分
- 2) 会 場 平塚市博物館 科学教室／第 1・第 2・第 4 収蔵室ほか／プラネタリウム室
- 3) 主 催 平塚市博物館
- 4) 主 旨 例年ゴールデンウィークの最終日に開催していた「こどもフェスタ」が未だコロナ禍で実施見込みが立たなかったことから、同行事でしか体験できない博物館ぶたいうらツアーと学生によるプラネタリウム投影の観覧を組み合わせ、各時間帯ごとに事前の申込制として実施した。
- 5) 内 容 各回、参加者を 4 グループ (A, B, C, D) に分け、A・B グループはプラネタリウムを観覧したのちにぶたいうらツアーを体験、一方、C・D グループはぶたいうらツアーを体験したのちにプラネタリウムを観覧してもらった。それぞれの内容の詳細は以下の通り。
- ぶたいうらツアー
 - 1 グループは、受付前→事務室→館長室→第 1 収蔵室→研究室→文献資料室→第 2 収蔵室→第 4 収蔵室→プラネタリウム室前という順路で、もう 1 グループは逆順路で、学芸員が要所所で解説をしつつ廻った。
 - プラネタリウム
 - 普段、当館での資料整理等に参加している協力者のうち希望者に投影を担当してもらった。これは、当館の天文分野の資料整理等協力者には、将来プラネタリウム解説員などの職に就きたいという学生が多いことから、経験を積んでもらうために始めたもの。投影担当者とは内容は下記の通り。
 - 9 時 30 分～の回／11 時～の回 辻本あかり 動物の星座たち
 - 13 時～の回 田中匠 天の川と系外銀河
 - 14 時 30 分～の回 枘本晴希 旅先 (長野・石垣島) の星空
- 6) 定員と応募状況 定員は各回 40 名。対象は中学生以下とし、各組 1 名まで大人の同伴を認めた。高校生以上のみの参加は不可。9 時 30 分～の回と 11 時～の回は定員を超過し抽選となった。

- 7) 参加者数 9時30分～の回 12組 31人 (うち子ども 19人)
 11時～の回 15組 39人 (うち子ども 25人)
 13時～の回 14組 34人 (うち子ども 20人)
 14時30分～の回 16組 37人 (うち子ども 23人)

合計 57組 141人 (うち子ども 87人)

8) 来場者オンラインアンケート結果:

○回収件数 22件 (回収率 38.6%)

○開催情報の入手

広報 ひらつか	あなたと 博物館	新聞等	博物館 HP	その他 HP	SNS	知人の 紹介
11件 (50%)	0件 (0%)	1件 (4.5%)	2件 (9.1%)	0件 (0%)	5件 (22.7%)	3件 (13.6%)

○博物館行事への参加回数

初めて	2～5回目	6回目以上
14件 (63.6%)	8件 (36.4%)	0件 (0%)

○ぶたいうらツアーの満足度

おもしろい	ややおもしろい	ふつう	ややつまらない	つまらない
18件 (81.8%)	1件 (4.5%)	1件 (4.5%)	1件 (4.5%)	1件 (4.5%)

○プラネタリウムの満足度

おもしろい	ややおもしろい	ふつう	ややつまらない	つまらない
19件 (86.4%)	1件 (4.5%)	2件 (9.1%)	0件 (0%)	0件 (0%)

○行事の長さ

ちょうどよい	長い	短い
17件 (77.3%)	3件 (13.6%)	2件 (9.1%)

○参加した子どもの年齢 (複数選択可)

未就学児	小学1～2年生	小学3～4年生	小学5～6年生	中学生
5人	9人	13人	3人	0人

<感想・ご意見 (原文ママ、一部抜粋) >

- ・普段入れないバックヤードが見れて、面白かったです。
- ・とりがこわかった
- ・普段は絶対に見ることが出来ない舞台裏に入れて、とても楽しかったです。博物館の仕事体験やお手伝いをしてみたいと思いました。
- ・博物館の貴重な所蔵室などを見学できて興味深かった。
- ・大変興味深かったです。皆さん詳しく説明していただき、もっといろいろお話しいたくなりまし
た。これからも子供向けのイベントをして頂きたいです。

- ・2歳児が泣くので、プラネタリウムを途中退席しました。
- ・普段見ることのできない博物館の裏側を見られたのも楽しかったですが、なかなか直接お話しできない博物館の学芸員さんや事務の方、館長さんとお話出来たことも楽しかったです。子どもの質問にも丁寧に答えて下さる引率して下さった学芸員さん、学芸員になった理由を教えてくれた方、穏やかに細やかに説明を補足して下さった館長さん、こんな魅力ある方々が博物館を支えてるんだなと思うと、より博物館に親近感が湧きます。子どもより大人の方が楽しんでしまったかもしれません。

プラネタリウムも、いつもの穏やかな声で進められる投影も癒されて好きなのですが、今日の明るくユーモア溢れるお姉さんの声で進められる投影も、思わず何回もクスクス笑ってしまうほど楽しめました。プラネタリウムは音楽も楽しみの一つなので、お姉さんの声に合うような明るい曲がバックでそっと流れていても良かったかもしれません。

家に帰ってからは、おススメされた YouTube チャンネルをさっそく見てみました。来月もアップされるのが楽しみです。

子どもたちも年齢が上がるにつれて、理解できる範囲、興味を持つところが変わってくると思うので、またこのような企画があったら、是非参加したいです。

- ・勘違いしていたのかもしれないが、舞台裏ツアーというので、学芸員さんが普段どんな事しているのかや、裏でどんな工夫がされているか、平塚博物館がどんな博物館なのか等が知られるのかと思っていたが、実際はただ施設裏側を少し見るばかり。しかも施設がどんなに古くて資料を適切に管理できないか、の説明ばかりで子どもが飽きていた。

また、こどもスペシャルのはずが、説明の言葉が大人向けのままで子どもがぼかんとしていたように思う。これであれば普通に普段の展示を見ている方が楽しんでいる。

プラネタリウムは子ども向けになっていて楽しんでいたのも、そちらは良かったと思う。

- ・高いところにある骨が見えなくて悲しかった。お部屋がぐちゃぐちゃすぎ。
- ・普段は見られないところもありのまま公開して下さり親子共々貴重な体験になりました。博物館の職員の方々も温かく迎えて下さり嬉しかったです。
- ・こどもも楽しんだけどそれ以上に付き添いの大人の方も楽しめました。
- ・普段立ち入ることのできない場所を見ることができて、とても興味深かったです。保管してある場所を見るのが楽しかったです。プラネタリウムも和やかで、内容も子ども向けで良かったです。息子もまた参加したいと言っています。
- ・荷物が部屋から溢れていたのが、印象的でした。
- ・4歳の子でも飽きずに楽しめました。

- ・博物館の裏側のありのままを見せてもらえて貴重な体験でした。資料が倉庫に入りきらないくらいたくさんあるんですね。いつもより近い距離で見れて子供達も楽しそうでした。
- ・普段目にする事がない、バックヤードを体験させてもらい、楽しい時間を親子で過ごせました。また機会がありましたら、参加したいです。
- ・星座もこれ以上あるなら気になるからチャンネル見たいし、面白かった
次の鳥の展示も絶対に見に行きたい!!
- ・小1の子にはまだ早かったみたいですが、小4の子は生き物が好きなのでなかなか見えない剥製に興奮していました。
- ・いつもは見られない裏側をみせていただいて楽しめました1ただ小学校低学年と未就学児には価値が分からないようで飽きちゃってました。高学年になったらまた連れて行きたいと思います。

●情報発信（ホームページと YouTube・SNS）

表 1 平塚市博物館ホームページ訪問数

年度	訪問数												総訪問数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2017	25,341	28,945	26,819	30,766	34,800	28,219	23,259	19,940	18,065	21,994	18,155	18,921	295,223
2018	20,475	25,132	29,789	32,176	33,089	21,153	23,105	18,716	17,535	20,503	17,944	22,199	281,816
2019	25,341	28,945	20,781	25,587	30,663	21,877	22,078	27,657	22,303	23,149	20,375	22,326	291,082
2020	20,780	24,312	21,356	26,149	30,037	28,219	23,885	20,902	22,593	23,041	25,531	24,918	291,723
2021	25,188	32,612	30,572	32,833	28,436	27,063	27,293	27,166	25,422	13,412	20,205	22,316	323,563
2022	23,427												23,427

※（斜線はデータ消失のため、該当データを除く 2015～20 の平均値で補完） 4月末現在

表 2 平塚市博物館（HIRAHAKU）Youtube 視聴回数

年度	視聴数（2017年3月まで7,932）												総視聴数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2017	510	359	523	475	345	435	3,099	9,774	1,749	9,833	1,130	30,286	58,518
2018	12,521	834	603	2,159	3,615	555	1,615	3,047	1,527	2,176	615	830	30,097
2019	669	1,584	442	4,008	1,258	457	525	2,819	1,594	1,077	695	1,533	16,661
2020	3,039	6,693	13,272	5,959	3,710	2,110	1,656	1,608	1,549	1,029	1,071	2,756	44,452
2021	3,338	3,637	3,309	5,151	4,105	3,914	3,026	2,622	2,583	7,783	8,596	12,156	60,220
2022	9,288												9,288

開始（2011/1/9）から 2022 年 4 月末までの累計 227, 168

表 3 平塚市博物館（HIRAHAKU）Youtube チャンネル登録者数

年度	チャンネル登録者数（2017年3月まで10）												総数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2017	1	0	1	1	0	4	6	13	7	4	2	0	39
2018	6	1	4	3	4	0	1	8	2	3	1	3	36
2019	2	2	1	-1	0	2	-1	3	1	1	2	3	15
2020	54	102	76	21	17	5	6	9	3	3	8	38	342
2021	53	39	40	78	68	34	22	16	15	106	112	248	831
2022	105												105

開始（2011/1/9）から 2022 年 4 月末までの累計 1, 378 人

表 4 平塚市博物館（HIRAHAKU）Youtube の毎月の視聴回数と累計チャンネル登録者数

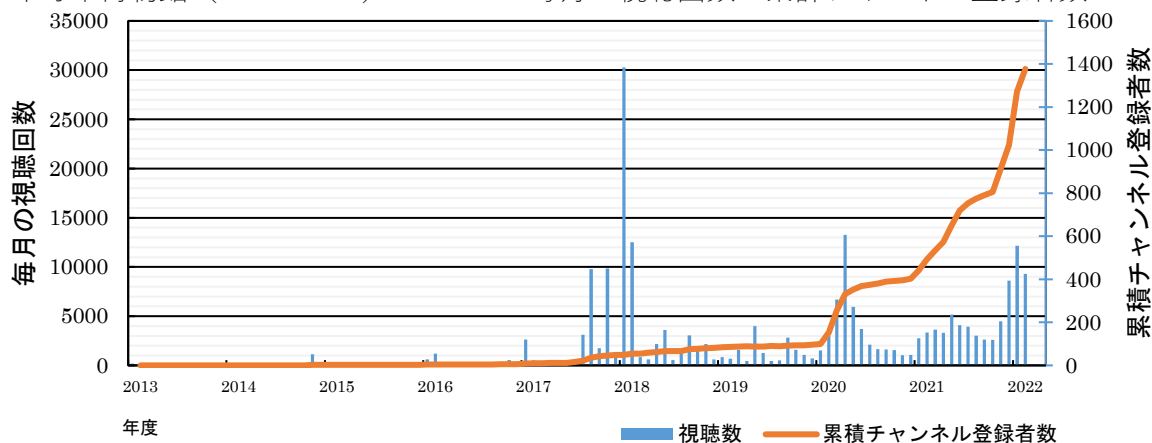


表5 「5分でわかる平塚学入門」(HIRAHAKU) 公開進捗率 (5/27 現在)

	全	終了	残	完了率
天文	10	9	1	90.0%
地質	14	13	1	92.9%
生物	6	6	0	100%
歴史	13	12	1	92.3%
考古	10	9	1	90.0%
民俗	20	16	4	80.0%
歴史・天文	1	1	0	100.0%
歴史・地質	2	0	2	0.0%
	76	66	10	86.8%

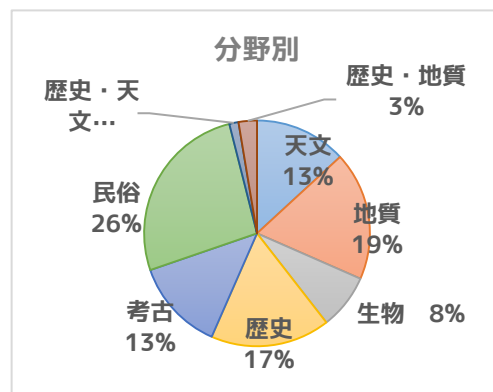
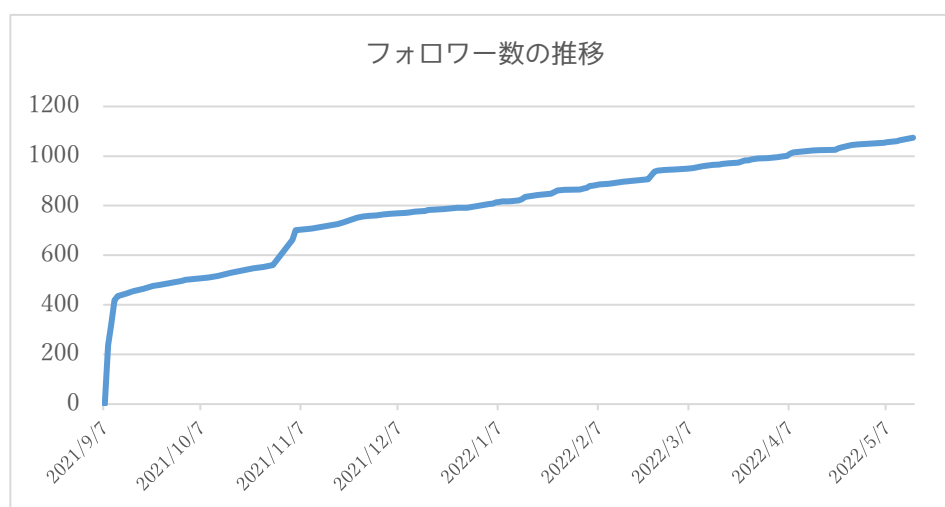


表6 「おうちで楽しむはくぶつかん」(HIRAHAKU) Youtube 視聴回数ランキング (5/15 現在)

タイトル	公開日	再生回数
1 おうちでプラネタリウム (藤井大地 学芸員)	2020/4/18	8,838
2 鎌倉殿と平塚の七人 第1回_真田与一義忠	2022/1/23	5,627
3 おうちでプラネタリウム (塚田健 学芸員)	2020/4/18	3,580
4 鎌倉殿と平塚の七人 第2回_岡崎四郎義実	2022/2/20	3,305
5 5分でわかる平塚学入門「中原御殿」	2021/3/26	2,522
6 2019年5月25日夜に平塚から見たスターリンク衛星	2019/5/25	1,970
7 5分でわかる平塚学入門「古墳を作った大豪族」	2021/4/23	1,634
8 5分でわかる平塚学入門「平塚はプレートの境界だった」	2021/5/21	1,592
9 5分でわかる平塚学入門「伊勢原台地と伊勢原断層」	2022/1/14	1,328
10 鎌倉殿と平塚の七人 第3回_土屋三郎宗遠	2022/3/20	1,261

表7 平塚市博物館 (HIRAHAKU_) Twitter

2021/9/7 新規開設。5/15 までに 484 ツイート発信。フォロワー数 1076 人。



平塚市 (公式) LINE

2021/7/26 から配信開始。概ね週 1 回投稿。4/末までに 51 回投稿。登録者数 15,298 人(12,204)

展示

夏期特別展では、多数の剥製や写真・バードカービング作品を出展、市内に多様な野鳥が生息することを知ってもらうとともに、平塚の自然への関心を深めることを目的に開催します。秋期特別展では、日本各地に伝えられてきた“日本版星座”を広く紹介するとともに、それらの元となった民具の実物を展示し、日本人が星空をどのように捉えてきたのかを紹介します。春期特別展では、地質分野の成果を分かりやすく紹介します。「第22回博物館文化祭」では、博物館で活動するワーキンググループの活動成果を展示発表します。

1階寄贈品コーナーでは概ね月替わりで各分野のテーマ展を開催します。2階情報コーナーでは特別展のダイジェスト展などを開催します。

特別展	春期特別展 「掘り起こされた平塚Ⅳ」	2022 3月 19日 ~ 5月 8日
	夏期特別展 「野鳥愛」	2022 7月 21日 ~ 9月 4日
	秋期特別展 「星になった民具たち」	2022 10月 22日 ~ 1月 9日
	第22回博物館文化祭 -ワーキンググループ展示・活動報告会・実演-	2023 2月 上旬 ~ 2月 中旬
	春期特別展 (仮)「地質の基本」展	2023 3月 18日 ~ 5月 7日

寄贈品 コーナー	民俗 「ハレの日の装い」	2022 2月 26日 ~ 4月 3日
	自然系 「新着資料展 -自然分野-	4月 7日 ~ 5月 8日
	人文系 「新着資料展 -人文分野-	5月 12日 ~ 6月 5日
	歴史 「空襲展」	6月 21日 ~ 7月 31日
	考古 「遺跡展」(社会教育課共催)	8月 4日 ~ 9月 7日
	全体 博物館実習生制作展示	9月 16日 ~ 9月 28日
	地質 (仮)「関東大震災から100年」(防災まちづくりの会と)	10月 1日 ~ 10月 30日
	生物 生物分野、展示内容未定	11月 3日 ~ 1月 9日
	天文 (仮)「改暦150年」	1月 13日 ~ 2月 26日
	民俗 民俗	3月 2日 ~ 4月 2日

情報 コーナー	天文 「星座”誕生”100年」	2022 3月 31日 ~ 5月 11日
	考古 ポスト特別展『掘り起こされ「ていた」平塚』	5月 14日 ~ 6月 5日
	総合 「平塚市制90周年」展	6月 21日 ~ 終期末定
	以下、内容未定	

プラネタリウム

プラネタリウムの一般投影は、毎週土・日曜日と、春・夏・冬休み期間中の水・木曜日に行います。当面は1日2回、32名の定員で実施します。特別投影も実施する予定ですが、コンサート等は感染状況等の推移を見て決定します。また、幼児団体投影・学習投影は市内の園・学校に限定し、予約制で水・木・金曜日午前に実施します。

一般投影	一般向け投影 鎌倉武士が見た星空 ~吾妻鏡に残された天の記録	2022 2月 5日 ~ 4月 3日
	一般向け投影 ハッブルからジェームズウェッブへ ~宇宙望遠鏡新時代~	4月 9日 ~ 6月 5日
	一般向け投影 フリートーク・プラネタリウム	6月 18日 ~ 7月 17日
	一般向け投影 星空でバードウォッチング!? ~鳥の星座をめぐる~	7月 23日 ~ 8月 29日
	一般向け投影 月がとっても赤いから ~迫る皆既月食~	9月 3日 ~ 10月 30日
	一般向け投影 日本の星を見上げて ~星の和名の春夏秋冬~	11月 5日 ~ 12月 28日
	一般向け投影 2023年の天文現象	2023 1月 4日 ~ 1月 29日
	一般向け投影 母なる星・太陽	2月 4日 ~ 4月 2日
	幼児向け投影 ほしみるおじさん	4月 9日 ~ 毎土11時
特別投影	星空散歩 (月初の土または日曜日))	2022 4月 3日 ほか 11回
	流れ星を数えよう	2022 8月 6日・12月 10日
	星空の古代史5「鎌倉武士と天変」	2022 5月 29日
	星空の古代史6「古墳に描かれた星空」	2023 1月 14日

コンサート	シアトリカル・プラネタリウム（雑貨団、2回）	8月と	3月を予定
	プラネタリウム・コンサート（2回程度）	未定	

各種普及行事

当面の間、すべての行事を事前申込制で実施します。

申込制 行事	考古	夏イベント	2022 7月 31日
		考古学入門講座（2回）	2022 10月23日と11月20日の日曜
	歴史	郷土史入門講座（3回）	2023 1月・2月・3月の日曜
	民俗	石仏めぐり	2022 10月 22日 土
		体験学習「お飾りをつくろう」	2022 12月 3日 土
		ろばたばなし(当日整理券)	2022 毎月1回日曜日
	地質	自然観察入門講座「相模川流域ジオツアー入門」（3回）	2022 4月 23日 ほか 2回
		体験学習「サメの歯化石のレプリカをつくろう」（3回）	2022 7月 28日 ほか 2回
	生物	自然教室（6回）	2022 4月 16日 ~ 3月 11日
		きのこの観察会	2022 10月 20日
	天文	星を見る会（10回）	2022 4月 22日 ~ 3月 3日
		天文学入門講座（4回）	2022 5月 ~ 8月
		望遠鏡を作って月食を観察しよう（2回）	2022 8月 4日・8月 5日
		不思議な板で万華鏡を作ろう（4回:当日整理券）	2022 7月 29日
		星座早見盤を作ろう（3回）	2022 4月 23日 ~ 8月 18日
		フィルムケースロケットを作ろう、かきぶくろロケットを作ろう	2022 9月 10日
		最新天文学講座（3回程度）	2022 初回は4月9日
	総合	博物館ぶたいうらツアー&プラネタリウムこどもスペシャル	2022 4月 29日
		平塚学講座	2022 未定
	会員制 行事	考古	平塚の古代を学ぶ会
古代生活実験室			毎月1回木曜日
東国史跡踏査団			毎月1回土曜日
歴史		古文書講読会	毎週金曜日
		裏打ちの会	毎月1回水曜日
		平塚の空襲と戦災を記録する会	毎月1回土曜日
		地域史研究ゼミ	毎月1回土曜日
民俗		石仏を調べる会	毎月第二第四木曜日
		民俗探訪会	毎月第三水曜日
		祭りばやし研究会	毎月1回土曜日
		聞き書きの会	毎月第二火曜日
地質		地球科学野外ゼミ	毎月1回__土or日曜日
生物		生き物ズームプロジェクト	毎月1回日曜日
天文		天体観察会	毎月1~2回土・日曜日
総合		展示解説ボランティアの会	毎月1・3木曜日

その他の全館的事業

館内のくん蒸・消毒に伴う休館	2022 6月 7日 ~ 6月 19日
設備改修のための休館	2022 12月 中旬 12月 下旬
博物館実習	2022 9月 7日 ~ 9月 15日

*新型コロナウイルスの感染状況等により展示や行事の内容・日時が断りなく変更される場合がありますので、最新の「博物館ホームページ」「広報ひらつか」等でご確認ください。

市制 90 周年記念 夏期特別展「野鳥愛」企画概要

1)会期 2022(令和4)年7月21日(木)～9月4日(日)

2)会場 平塚市博物館特別展示室

3)趣旨

平塚は、県内でもトップクラスに多くの種類の野鳥が観察される場所として知られているが、残念ながら、現在野鳥は市民にとって必ずしも身近な存在とはいえない。一方、野鳥への関心は高く、鳥について知りたいという要望は多い。

この展示では多くの剥製や写真、バードカービング作品をきっかけに、市内に多様な野鳥が生息することを知ってもらうことで、鳥について知ってもらうとともに、平塚の自然への関心を深めることを目的とする。平塚を中心に長年野鳥観察を続けている市民グループ「こまたん」の活動を紹介することで、鳥や自然との適切な距離感を知ってもらい、写真やバードカービングといった作品に注目されかちなものが、深い野鳥への愛と観察に基づいていることを紹介したい。さらに、今からおよそ 90 年前の平塚での鳥にまつわるエピソードを紹介することで、今と昔の環境の違いについて想起してもらうとともに、身近な自然に対する愛情を喚起したい。

4)展示構成

0章 鳥の話

鳥の剥製／鳥の形態・生態などの紹介

1章 鳥を調べる～こまたん流、野鳥観察法～

展示:こまたんとは／非接触調査ってなに？／鳥の目から見た平塚の自然

2章 鳥を撮る～未来に伝えたい、身近な鳥たちの姿～

展示:岡根氏写真

3章 鳥を彫る～バードカービングに込めた想い～

展示:遠藤氏バードカービング作品

章外 少し昔の平塚の鳥エピソード(中勘助とチドリの卵・中勘助とヒバリとアオダイショウ・石原さんと白鷺の卵)／鳥の骨と形

5)関連事業

・記念講演会「野鳥とともに 40 年—こまたん流野鳥との付き合い方」

8/21(日)10時から12時 博物館講堂 募集定員 35名(予定)

・特別講座「鳥の羽根の魅力」

8/27(土)10時から12時 博物館講堂 募集定員 40名(予定)

・特別展示解説

8/6(土)17時から18時 博物館特別展示室 募集定員 20名(予定)

・子ども展示解説「はくぶつかんで鳥を見よう」

7/21(木)9時30分から10時

7/23(土)9時30分から10時 博物館特別展示室 募集定員各 20名(予定)

・体験学習「とりの手羽先骨格標本を作ろう」

7/27(水) 9時30分から11時、13時30分から15時 博物館講堂 募集定員各15名

・観察会「夕方の鳥をみよう」講師:こまたん (調整中・フィールドスコープをシェアする必要があり、観察対象が動くため、感染症対策が難しく実施の目途が立たない。講演会中で観察方法を伝えてもらうよう交渉中)

6)出版物

・特別展示図録『野鳥愛』発行予定部数:1000部

・ポスター:400部

・リーフレット:4000部

・幼児～低学年用ワークシート 3000部

・「しづかな流」リーフレット 1500部

平塚市博物館学芸担当

学芸員 松本典子

〒254-0041 神奈川県平塚市浅間町12-41

電話:0463-33-5111 FAX:0463-31-3949